

の みのかも市報

No.109

7月号

昭和43年7月1日発行

編集
秘書企画課

発行
岐阜県美濃加茂市

美濃加茂市太田町
電.(05742)5-2111

人口の動き

6月1日現在

総人口 34,434人

男 16,922人

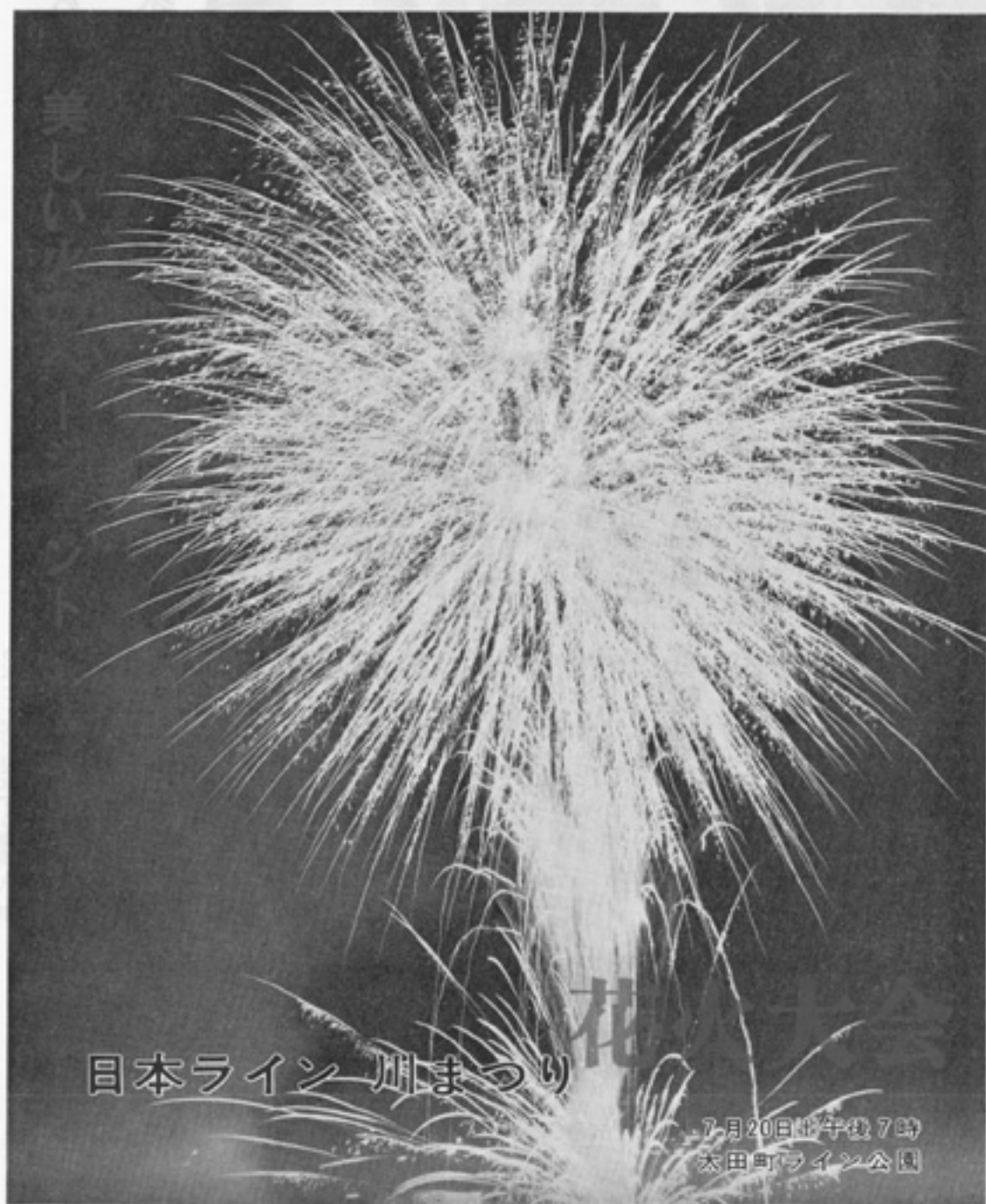
女 17,512人

(昨年同月33,815人)

世帯数 7,717戸

(昨年同月 7,561戸)

住民登録人口より



として保存しておいてください。また
お役にたつときがあると思います。

美しい花
日本ライン川まつり

7月20日(土)午後7時
太田町ライン公園

気がかりなつゆあけの豪雨

まず家のまわりのどぶさらえを



ことしも集中豪雨が発生しそうな季節を迎えました。みなさんのお宅では集中豪雨の対策はできているでしょうか。「わたくしのうちは、だいじょうぶ」といったあまのこえは、いままらなおとしておく必要があるようです。

気象庁が発表した七月の予報によると、本格的な夏は今月半ばからで、つゆあけのころに局地的に大雨の恐れがあるとのこと

この集中豪雨は、梅雨前線が北上するときこの前線に、低気圧が発生したり、台風や熱帯性低気圧が刺激したりして、おきるといわれています。

家庭では

一、二回の避難訓練を

豪雨対策については、みなさんのご家庭ではいろいろな研究が行なわれていることと思いますが、たいせつなことは、尊い人命をなくしたり、けがをしたりしないことです。それには避難方法をはじめに決めておくことです。

め床上・床下浸水する地域も、市街地、農村地帯の別なく増えています。昔から「備えあれば憂いなし」ということわざがあるように、いまからみんなで集中豪雨の対策をたてておく必要があります。たとえば、町内で会議が開かれた場合に、環境施設について検討したり、過去に発生した集中豪雨による災害時のことなど話し合ったりするのも、具体的な例のひとつです。

七月の生活は「つゆ明けをまっ」ということになりました。長期天気予報などによく注意して、七月の計画をたてましょう。さて、今月のこよみは……

1日 社会を明るくする運動始まる(月末まで)。国民安全の日、全国安全週間。各地海・山びらき

5日 日米高校レスリング最良大会、コロラドX最良、午後一時加茂農林高体育館。スポーツテスト判定員養成講習会、午前九時、西中学校

6日 青年文化講座、午後七時、中央公民館。花壇講座と閉講式、午後一時三十分、市役所

7日 小暑、たなばた。参議院通常選挙投票日。青年団大会、午前九時、東総合グラウンド

10日 高齢者学校、午前九時、中央公民館。美濃加茂おどり保存会総会、午後一時、産業観光会館

12日 県移動美術展、中央公民館

14日 入場は無料。母親講座と閉講式、午後一時、市役所

15日 古井の水道山まつり。下米田の盆

16日 行政相談、午前九時古井連絡所。午後一時産業観光会館

20日 土用。日本ライン川まつり

21日 花火大会、午後七時、ライン公園

25日 市内小中学校一学期終業式

上古井の盆

7月の
広報メモ

心がけたい子どもの自主性

夏休みの家庭教育

夏休みの意義を理解しよう

七月の月を聞くと、子どもたちの間に「夏休みまであといく日」ということが使われるようになります。

夏休みは、他の休暇と比べ期間が長いこと、暑い時期にあたるため、家庭教育の意義も極めて大きいといわれています。

夏休みの期間中、児童生徒のくらし方については、市内それぞれ小・中学校から、その学年にあった具体的な指示が行なわれますが、今月は、この夏休みの家庭教育について特集してみました。

子どもを

事故から守ろう



毎年のように夏休みにつきものの悲しいニュースです。小学校の児童や、中学生については、まだまだ家庭や先生方の保護・指導が必要です。近所の川だから、近所の道だからといった安心感が、意外なところでとてつとて事故が多いものです。二学期には、必ずみんな笑顔で登校できるよう心がけましょう。また、夏休みは児童生徒が規則正しい学校生活から解放されるため、生活の規律が乱れたり、非行化したりとよりかえしのつかない事故を招きやすくなります。青少年だけでなく、一般的にみても盗みや、いたずら、暴力などがめだつて多くなっているようです。加えて、夏の防犯運動が展開され、犯罪や事故の防止に努められます。家庭でもじゅうぶんご注意ください。とくに、盆おどり、花火大会などには保護者が同伴したり、遊び友だちに気を付け帰宅時間を厳格にさせるなどひとつの例です。親と子のつながりを

深めましょう

PTAの会合などで「現代の家庭生活のなかには、親と子のつな

夏休みの教育的意義として最も大きなものに「健康なからだづくり」と「個性や特長を伸ばす」があげられています。健康な子は、一層からだをきたえ、弱い子は健康へのからだづくりがたいせつです。まず、じゅうぶん栄養のあるものを食べて体力を養い、規則正しい生活をするようにして、夏まけをしないようにしましょう。また、食べものに好き・嫌いのある子どもは、この期間に思いきってなおさせるなど、なんでもよく

健康なからだづくりと個性や特長を伸ばしてやろう

がりが弱くなっているのではないだろうか……などが話題としてとり上げられているようです。みなさんの家庭でも、一度考え直してみたいかがでしょうか。市教育委員会の話によると、一般的な傾向は、やはりこの「つながり」「きずな(絆)」が弱くなっているといわれています。しかし、家庭の機能にはいろいろなものがあり、忘れてならないものでしょうか。

食べる子どもに育てたいものです。個性や特長を伸ばすためには、通学しているときにできないような継続的な観察実験や、積極的に子どもが活動のなかへ飛び込ませるなどが方法のひとつです。親の留意点としては、子どもが夏休みの計画(プラン)をたてるに、積極的に相談のつてやるといことです。個人あるいは地域には、それぞれの特性があり、それに合った無理のないプランがつくれるのがたいせつなことです。

夏休みは年に一度のチャンスではないでしょうか。家庭生活における自然なおこしから、子どもにうちとけて「つながり」をさらに深めたいものです。夏休みは年に一度のチャンスではないでしょうか。

規則的、計画的な生活をするには、家族はもちろんのこと、地域の協力もたいせつです。「午前中は遊びに誘わない」など勉強、グループ活動、遊びといった約束をきめることも地域の協力のひとつです。また、夏休みは伸び伸びと子どもが活動できる時です。この期間に地域の子ども会活動を持ち上げたものです。子ども会、よい友だちづくりにもなり、多彩なプログラムによってグループ結束をたのしませてくれます。



らないものに教育の場でもあるという事です。年々成長していく子どもの姿をじっくりみつめ、助言を与え、人間としてもなるものを心のなかに育てる……このことが、りっぱな人間をつくり上げるというものにつながると思われたい。親と子のつながりを深めるにはいろいろなものがありますが、保護者自身の考えから、単に小言の連発であったり、指導意識がからず「お説教」になったりしてはかえって程遠いものになってしまっています。

右岸用水とこれからの農業

農業構造改善事業を含めて

＝ その6 ＝

市の農業労働力は、その多くが商工業などに吸収され、農業を兼業化しつつあります。こうした情勢のなかで、農業のしくみを改善して、土地や労働の生産を高める努力が現在市内各地で行なわれています。

今月はその中のひとつ、養蚕について特集してみました。

養蚕は他の農作物より

省力化できる

市農林業生産推進研究集団

会長 鈴木義巳(下米田町)

養蚕は、戦後しばらくは飼育農家の代表のように見られた時代がありました。しかし、近年めざましく

い日本経済の発展によって、国民生活も豊かになり、絹の需要も年々増えてきています。

この需要をみたすため、残された問題は、いかに省力化して養蚕経営の拡大と安定をはかるかにあるようです。



上石津村で行なわれている完全土中条桑育

私は、その方向を養蚕に求め先進地視察や独自の研究を進めてきました。

その結果、養蚕は他の農作物に比べ、省力化できるところが多いのに魅力を感じました。

省力の第一は桑

今春、養蚕部上石津村の小川大助さんの桑園を、グループのみなと視察してきました。

ここで教えられたことは、いかにして年間の収量を多くするか、ということですが、市内では同一面積でも手入れ次第で三割の増収が期待できると思われました。

また養蚕作業の中でいちばん労働時間の多い摘桑も、完全条桑育にすれば三分の一ぐらいに短縮されることに気づきました。

したがって、完全条桑すれば倍以上の増立が可能になってきます。

これからの養蚕は土中育で

現在市には、五月から九月までに七回程度飼育されている多回育養蚕家があります。この人たちは簡易ハウスや土中育など省力化した方法がとられています。

私は、四合から完全土中条桑育で器具など投資を節減、上ぞくして初めて家の中へ入れる飼育をしています。今後はさらに省力化と多回育法を試みたいと思います。

コンサタント意見書から

市の養蚕の将来

岐阜県養蚕試験場

場長 高岡 文男

美濃加茂市の将来は、商工業などに多くの労働力を集め、農家のなかにも兼業として出勤する者が増加するであろう。

すなわち、兼業農家が增加する傾向であるが、なかでも第二種兼業農家が增加するであろう。

統計上には第二種兼業が増加しよう、減少しよう、美濃加茂市民が幸福になればよいと思う。

しかし、農外収入源はおもに賃金であって、これは稼働日数におおむね比例して最高額には限度がある。わたたくしは、農家があらゆる点で大きい稼働ことは賛成であるが、農外収入が零細なため僅かな稼働賃金でも比率が多くなると第二種兼業農家になることには不満がある。

あらゆる手段を講じ農外収入を増加して、その額が最高限度に達してもなお農外収入の比率が高くて、専業農家にならなければならない、農家収入額が大きくなることを望みたい。

そのため、土地生産性も高く労働生産性も高い作目を選定すべきである。水稲はそのひとつである。しかし、丘陵地の水田化は難しく、かつ土地生産性はあまり高くない。養蚕は土地の生産性からみると極めて高い部類に入る。

水稲作に比べ、労働の生産性は低い、その労働の内容をみると

老若を問わず使用できるような肉体的に楽な内容を持ち、比較的時間も同様に算入されている。

また、満は平均値と最高値の間に二、三倍の開きがある。開きの大きいことは、収益性の増加の大きいことを明示している。

すなわち、農業収入を飛躍的に増加させるには、この開きが大きく、可能性の大きな作目を選定すべきである。

美濃加茂市において、その可能性を立証できるかを考えるとき、岐阜県の最高収額者は美濃加茂市民であり、ある部落の平均値でさえも一日千四百円(四十一坪)の労働報酬を得ているところもある。

美濃加茂市においては、高収益を生み出すことは実証済みである。今後の養蚕農家は、次の三つに大別されるであろう。

(1)専業養蚕家 桑園一畝以上をもち、年間絹千五百キロ以上、純益百万円以上。当市にすでに二人の例がある。

(2)主業養蚕家 純益六十万円以上の収入をあげている養蚕農家は市内に数多くある。

(3)副業養蚕家 主人は農外収入を得、主観が三、四アールの桑園で二十万、三十万円の純益をあげている。これは、冬期間に養蚕に従事しない月を含めて、月収一万五千円になる。

すなわち、美濃加茂市において限られた面積と労働力から、飛躍的な農業収入の増加を望むには、養蚕を振興させることが最もたいせつなことではなからうか。

(おもなものを探してみました)

初秋蚕はすべてに有利

加茂蚕業指導所

美濃 加茂駐在員

養蚕農家では、いよいよ初秋蚕期に入ります。

初秋蚕飼育は次の点で有利と思われ、繭の増産へ追い打ちをかけ、繭の増産の基盤をつくりあげてくたさい。

(1) 労力配分がうまくゆく

市における年間の上繭生産割合（四十二年）は、春蚕が四十五％、初秋二十％、晩秋三五％となっています。

この割合をみると、春蚕期のパーセントが高いことがうなずけますが、春の時期は他の農作業と重なるため、たいへん忙しいことがうかがえます。

したがって、春蚕期の割合を少なくして、初秋蚕期の割合を多くするようにすると、労働力の配分が平均され、労力が活用できるようになります。

(2) 省力技術が身につく

初秋蚕期は暑い時期にあたるため、過激な労働は「からだ」によくありません。

この時期こそ、楽々と多くの飼育ができるよう省力技術を身につけたいものです。

桑のとり方は、夏刈桑園では引き収穫を行ない、桑園面積の一

土中飼育はこうに



込みができ、しかも桑葉育のできる省力養蚕に切りかえることができるようになります。

(3) 桑葉育の効果がある

昔から、夏の蚕は風で飼え、ということがあります。……といっても、通風をよくして飼うと桑がしおれやすく、増産の期待ももうすらいでしまいます。

夏の蚕は、上ぞく（養）までの

日数が短かく、桑葉育の効果が大きくできます。

桑葉育は、いつも新鮮な桑をじゅうぶん食べさせることができ、しかも、良質の繭が多くとれるという効果があります。

(4) 屋外飼育がやり易い

春蚕期、晩秋蚕期のように低温にあいやすい時期に比べ、初秋蚕期は、できるだけ涼しい場所を選ぶようにすれば、容易に屋外桑葉育をすることが出来ます。

(5) 桑園を利用した土中飼育

①桑園上にビロシートをかぶせた

②蚕座上にビロシートをかぶせた

③簡単な骨組のカマボコ型や、軒

先利用のかけだし型に、コモで

暑さよけをした屋外飼育

(5) 作柄がよく立派な繭がとれる

初秋蚕期は、高温の心配をした

飼育が安定しています。

蚕の食欲は、日中の高温に衰え

は、夜間にじゅうぶん食ひこませる

ようにすれば、春蚕繭に劣らぬ収

穫となります。

(6) 自然上ぞく（養）がやり易い

初秋蚕期は、蚕座の凸凹が少な

いので風を避け、周囲を暑り程度

の明るさにしてやれば、温度が高

いので「登熟」が早く、登熟率も

良好です。

初めて自然上ぞくを試みる方で

わしく知りた方は、一度加茂蚕

業指導所美濃加茂駐在所（市役所

二階五十二一（内線五七）へ

おたずねください。

健康メス 7月

▼夏まけをふせぐ

第一に、あげられることはよくねむることです。それには、規則正しい生活をして適度な運動をされることをおすすめします。

第二に、食事は同じものにかたよらず、バランスのとれたものを食べることです。

わたくしたちの体は、酸性か、アルカリ性かのどちらかにかたよると、病気になるやすくなります。

毎日を健康に過ごすためには、体液を中性に保つことが必要です。

酸性食品には、穀類、魚肉、砂糖、酒などがあります。

アルカリ性食品には、野菜、果物、牛乳、大豆、芋類、海藻などがあります。

第三に、ビタミンBとCに富んだものを食べることで、白米には強化米や麦をまぜると効果があります。

いちばんたいせつなことは、有色野菜など生野菜や果物を多くとることであるように

です。

▼夏のかせはひかないように

夏はひくかぜはなおりにくく、ほかの病気のもとになります。

こどもさんには腹まきを、おとなの寝まきは、パジャマ式をおすすめします。

夏は健康で過ごしてください。

トピックス



7月20日発売

木曽川国定公園
郵便切手

7月20日から、全国一せいに飛騨・木曽川国定公園の代表的な風景を題材にした二つの15円郵便切手が発売されます。

この切手は、木曽川の日本ライン下り風景と大城山付近の風景をとらえたもので、グラビア四色刷りです。

発行部数は二種類とも1,700万枚です。この切手ご希望の方は、もよりの郵便局でお求めください。美濃加茂郵便局では郵便による初日押印の求めにも応じます。



市内の加茂野小学校（足立浩校長）で、現在プールの建設工事が急ピッチで行なわれています。このプールの大きさは、長さ25メートル、幅16メートルのもので、このうち高学年用が6コース分、幅12メートルです。

水の浅い低学年用は、4メートルとられています。

またこのプールには、循環式浄化装置がとりつけられ、更衣室、便所、消毒そう、シャワー室などが完備されます。

工事費は830万円で、6月8日に起工式が行なわれました。生徒やPTAの人たちが待ちどしいプールの完成は7月末の予定です。



今月の農作業かんどころ

稲作

ことしの田植えは、田植機による機械植え、直まき栽培などいろいろな方法で行なれたようです。今月は田植え後の管理についてたいせつなことをお知らせします。穂数の確保。

したがって、分けつ肥は計画にあわせて早めに施してください。必要穂数が得られた後は、まず水管理を合理化して、2・4・Dの処理などを行ない無効分けつを抑えたいものです。この場合過繁茂にならないよう注意しましょう。根の健康管理。

幼穂形成期前後から始まる「根ぐされ」や「根の老化」を防ぐには水管理にあります。水管理は、気象・土壌条件などによって水稲の生育に応じたきめ細かい間断かん水を行なうことです。間断かん水をするとき、土中に根に酸素の供給が行なわれ効果があがります。とくに、中干しは必要穂数が確保できたら、キレツのはいるま

で行なってください。紋枯病の防除を。分けつ盛期以降になると、稲の繁茂によって株間の湿度が高まっています。また、この頃に紋枯病が発生しやすくなります。

多額の子金
市へ横断旗を寄贈
多額の子金 市へ横断旗を寄贈
山元邦さん、会員七十八人から交通安全に役立ててくださいと、このほど市へ横断旗百五十本が贈られました。市ではこの横断旗を弥生、八坂交差点などに備えます

市役所職員組合 一六、四八八円
中日本自動車学院（坂祝村） 五二二円
名鉄道船員組合 一〇〇円
三品照太郎（太田） 一〇〇円
市役所職員組合 一〇〇円
正殿短大自治会 四、五〇〇円
加茂高定時制生徒会 二、六六六円
竜山良典（太田町） 一、〇〇〇円
太田保育園保母 一、〇〇〇円
浅野利一（太田町） 一、〇〇〇円
職業訓練所訓練生自治会 八七五円
東洋紡製靴工場自治会（坂祝村） 七、五〇〇円
協成光雄（吉井町） 一、〇〇〇円
名古屋パルプ労働組 三、三八二円
募金箱 一、七三六円
計 九一、八二二円
（六月十九日現在）

「十勝沖地震義援金」
ありがとうございます
十勝沖地震被災地のみなさんが一日も早く立ち直ってもらうためにみなさんから義援金が集められました。（敬称略）





二つの統計調査にご協力を

調査員が中旬に訪問

七月一日現在で、商業統計と就業構造基本調査の二つが、全国いっせいに進められています。

このため、通産大臣・総務府統計局から委託された調査員が、七月十日ごろみなさんのお宅に伺い調査票を配付説明して、その記入を依頼しますので、その節はよろしくご協力くださいますようお願いいたします。なお、この調査内容は

厳重に秘密が守られ、個々の調査票を統計目的以外に使用されることは絶対にありませんので、ありのままご記入くださいますようお願いいたします。

商業統計

商業統計調査は、商業を営む全国の商店の分布状況や、商業活動などの実態を明らかにすることを目的として行なわれるもので調査

の対象は、商店と飲食店がおもなものです。
調査内容は、商店名・所在地・資本金・売場面積・従業員数・年間仕入額・年間販売額・営業経費など十七項目です。

この調査では、全国の世帯の中から一定の選定手順にしたがって調査世帯を選び出します。
市では、中川浦（三和）をはじめ六ヶ所が調査区となっています。

新池分譲住宅受付

県の分譲住宅（新池団地）の受け付けが、七日から二十日まで市土木課で行なわれます。
一年ものは十三戸、二年ものは十二戸となっており、十八年償還です。くわしくは土木課へ

「じん肺病」など

職業病を予防してください

労働基準監督署では、すばらしい工業発展の途に潜んでいる恐ろしい「じん肺病」など、職業病を未然に防ぐため、いろいろな対策が打ち出されています。

そのひとつとして、昨年九月には中興職業病対策協議会が結成されています。

この協議会は、労働者の健康管理、健康診断をはじめとして、工場設備の改善など積極的な事業計画推進のほか、多数の工場がこの会に加入されるよう、各方面に呼びかけています。

市内で、金属の羽布、研磨作業など粉じん作業を持ち、労働者をひとり以上雇用して見える工場では、早急にこの会に加入の手続きをされるようおすすめています。

ご存じのように、最近とくに発生する「じん肺」の多くは、金属の羽布、研磨作業によつて発生する粉じんを一定期間吸うため、肺に粉じんがたまり、肺機能が低下して発病するといわれています。

加入を希望される方は、労働基準監督署へ一度ご連絡ください。

交通共済に

加入ください

市および市商工会では、日ごと増える交通事故を、みんなの共済制度によつて助け合おうと、この四月から県生協の交通災害共済加入運動をすすめています。
しかし、六月二十日現在で約四百三十人と加入された方はわずかに過ぎません。

日ごとに増える交通事故、よりかかってくる災難は自らの手によつて守らなければなりません。もう一度、この実情を認識して市商工会へ加入の手続きをしてくださ。電話五二二一―一内線八三

(1)加入の資格
県内に在住、在勤の人

(2)加入の資格
空交通災害の対象

第一種は、すべての交通乗用具（自動車・電車・自転車・航空機・船舶・リフト・自転車など）

第二種は、原付自転車、軽自動車、オートバイ、原付自転車に限る。

第三種は、二種ともそれぞれに乗車中、またはこれに接触、衝突によつて災害を受けた場合。

(3)共済掛金
はじめて組合員になる方は、一口二百円を出資。

「第一種」個人一人につき七百円
「第二種」個人一人につき五百五十円
「第三種」個人一人につき五百五十円
「第四種」個人一人につき三百五十円
一人あたり（金）三百五十円

(4)被災者への共済金
死亡したとき五十万円、以下傷害の程度により支払われる。

〇家屋番号票はとりつけられましたか

古井町（神明・中央新町・大業を除く）のみなさんのお宅では、市から配布された家屋番号票（ハウスナンバー）を、とりつけられましたでしょうか。

このハウスナンバーは「新しい住居表示制度のしおり」などと一緒に、6月中旬に配布しましたので、玄関の裏札のあるところか、門など最もみやすいところにとりつけてください。

ハウスナンバーの数字は、向つて左側が街区番号を示し、右側の数字は家屋番号です。

〇ハウスナンバーの届いていない方は届出を
新しい住居表示事業は、3月31日調査で7月1日実施のため、この間に住居の異動があった方は、市民課へ早急に届け出てください。

市民課では、みなさんの届出から調査して新しい家屋番号をきめ、ハウスナンバーをお届けします。

〇新旧対照図、対照表をご注文ください

7月1日から、古井町実施区域は新しい町割・町名でスタートします。

この切りかえの時期は、お互いに住所がわかりにくいことが予想されるため、新旧対照案内図と新旧対照表を実費でお願いいたします。

案内図と対照表を希望される方は、7月20日までにともりの連絡所か、市民課まで申し込んでください。

①新旧対照案内図（縮尺1/2500）2枚で1組
実費 1組 360円程度
〔この案内図は、実施区域内の建物全部の新しい住居番号がわかり、また、町境などがわかりやすく、住居をさがすのに便利です〕

②新旧・旧新対照表
実費 250円程度
世帯主名、事業所名が旧町ごとに、新住居番号と対照できるものです。

(おしらせつづき)

サラリーマンの奥さんも

国民年金に加入しましょう

サラリーマンの奥さんも国民年金に加入して、明るい老後の生活を送りましょう。

国民年金制度には、農業・商業など自営業主やその家族を対象とした「強制加入」と、勤め人の奥さんなどを対象とした「任意加入」のしくみがとられています。

勤め人の奥さんについては、夫の被用者年金制度（厚生年金 共済組合など）による保障があるものの、その保障はじゅうぶんでなく、奥さん自身が保障者になつたり、離婚したりした場合などは夫の被用者年金制度からは保障されません。

サラリーマンの奥さんも、自身の年金を受けられるようにするために、国民年金に任意加入されることをおすすめします。

国民年金に任意加入すると、保険料を納付しなければなりません。その額は三十五才未満の人で月二百円、三十五才以上の人で月二百五十円となっています。

また、強制加入のかたで、生活が苦しく保険料を納めることができない方は、保険料が免除される道が開かれています。

免除申請は、七月三十一日までで、これが認められますときかのばって、ことし四月から来年の三月まで免除されます。

今月の納税

七月三十一日かぎり
固定資産税 第二期分

今月の在宅医

7日 日江井医院 五二二六二四
14日 古井医院 五二二二五三
21日 安藤医院 六〇〇八一二
28日 木沢病院 五二二八一
4日 黒岩医院 六〇〇五二五

自治会対抗野球大会に参加しよう

軟式野球を通じ、みなさんが明るく健康な生活をしていただくため、第1回自治会対抗野球大会が開催されることになりました。参加希望の方は、次により申し込んでください。

とき 8月4日(日)午前8時開始
試合日 4、11、18日の各日曜日
ところ 東総合グラウンド(古井町)ほか
主催 全日本軟式野球連盟美濃加茂支部
後援 美濃加茂市、市体育協会、市教育委員会

参加資格 ①自治会に加入している市民で年齢30歳以上の者
②1自治会1チームを原則とする
ただし、3自治会以内で1チーム編成も認められる
③1チーム15人以内で編成のこと
④職場、または連盟に加入しているチームは除かれる

試合 トーナメント7回戦ゲームとする
5回7点差のコールドゲームが適用される。優勝戦のみ9回戦
表彰 優勝チームには優勝旗(持旗)及び賞状、賞品、三位まで表彰参加者全チームに参加賞

用具服装 ①バット、グローブなどは、各チーム持参のこと
②スパイク、スリッパ、ぞうり、下駄の使用は禁止
③服装はスポーツができるもの

主催会議 第1回 7月6日午後1時から
第2回 7月20日
市役所3階会議室において開催
くわしくは、市教育委員会社会教育課でおたずねください。電話5-2111内線74

みんなそろって

受けましょう

結核健康診断

レントゲン車が、次の日程で市内各地を巡回します。

昭和二十八年四月一日以前(中学卒業以上の人)に生まれた人は結核健康診断(レントゲン)を必ず受けてください。

このうち、職場や学校などで受けた方は除かれます。

なお、下古井の丸日スタンド付近の人を除いた下古井地区、太田地区の受検日程は、市報九月号でお知らせします。

7月17日	7月16日	7月15日	日
伊深町	三和町	下米町	町名
伊深町公民館	納古山公民館	橋上公民館	場所
2:00	3:00	3:00	時
2:10	3:10	3:10	間
2:20	3:20	3:20	
2:30	3:30	3:30	
2:45	3:45	3:45	
2:50	3:50	3:50	
2:55	3:55	3:55	

7月25日		7月24日		7月23日		7月22日		7月18日		7月17日																				
古井町		山之郷町		蜂屋町		加茂野町																								
丸日	東中	古井	農協	加茂	中井	井村	上野	農協	佐口	本地	金谷	西谷	田谷	南谷	下谷	加茂	伊谷	下谷	農協	島谷	引谷	七福	加茂	市橋	加茂	加茂	木野	東今		
スタ	中	中	支	高	金	木	野	支	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	
ン	学	連	所	校	物	工	組	合	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
ド	校	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館	
3	2	1	1	1	3	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	4	
3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	3	3	0	0	0	4	5	1	5	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																